



基本理念

ゆるやかなつながりで、このまちの希望を形に、
一人ひとりがかがやこう

◎ 「地域福祉」とは…

共に生き共に支えあい、誰もが自分らしく安心して暮らせる地域、さらにみんなが生活を共に楽しむ地域を、地域住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人の力で作り上げていく福祉のことです。

◎ ビジョンの改訂にあたって

住吉区では、地域での見守りや支えあいの活動、地域・子ども食堂などの居場所づくり、社会福祉法人による社会貢献活動など、さまざまな取り組みが盛んに行われていることは、大きな強みとなっています。

「住吉区地域福祉ビジョンVer.3.0」では、これまでの基本理念を継承しつつ、区の強みを生かし、今日的な状況変化を踏まえた改訂を行い、これから3年間の住吉区の地域福祉の方向性を示しています。ビジョンに基づき、まちじゅうに「ゆるやかなつながり」を生み出し、一人ひとりがあるのままでいられる、自分のことを気にかけてくれる人がいる、そんなまちをみんなでつくりあげていきましょう。

◎ 基本理念の考え方

① みんなの夢や知恵を形にして、一人ひとりがかがやけるまちづくり （体験・経験から参加・参画へ）

このまちで働き暮らすさまざまな人々が集まって大きな夢を語りあい知恵を出しあいながら、その夢や知恵を形にするプロセスを積み重ねることで、一人ひとりがかがやけるまちづくりが実現できると考えます。

② ちがいを力に、自分の意見・自分で決めるを大切に （人権尊重・自己決定権）

人は一人ひとりみんなちがいます。そのちがいこそが、新しいものを生み出す力になります。ですから、人はそのままかけがえのない存在です。そしてなにより大切なことは、誰もが自分の意見を言える、自分で決める権利があるということなのです。

③ 誰もひとりぼっちにしない （社会的包摂（ソーシャルインクルージョン））

生きづらさや孤立に苦しむ人も、自分を気にかけてくれる人がいれば、ひとりぼっちではありません。身近な人が気かけあい、誰もひとりぼっちにしないことが、全ての人を包み込み、力づけるのです。

基本目標

1

ちがいとつながりを力にして、
一人ひとりがかがやけるまちづくり

- ① 自分と地域を重ねて、しあわせを考えられる住吉区に
- ・スポーツや文化活動などの地域行事の中に、福祉や防災的要素、多世代交流の要素等が自然と取り入れられ、楽しめるプログラムが広がっていくことをめざします。
 - ・平日夜間や土日など、現役世代も参加しやすい行事、スポット的な手伝いが歓迎される行事などが増え、コミュニティとの接点が増えることをめざします。
- ★自分のやりたいこと、できることから無理せず活動に参加してみよう。

- ② 地域のしあわせをいろいろな人と話しあえる住吉区に
- ・地域で暮らす人、働く人、学ぶ人など立場のちがいを超えて誰でも身近な地域で気軽に集まって地元の話しがきける茶話会的な場が生まれ、多様な人のつながりの機会、地域のこれからの話しにも花が咲くような機会が広がり、定着することをめざします。
- ★自分のまちをこんなまちにしたい、を身近な人々と話しあおう。

- ③ 助け助けられ、お互いさまを実感できる住吉区に
- ・さまざまな“居場所”や“出番”が得られる機会、人が地域に増えることにより、「支える側」と「支えられる側」が柔軟に入れ替わったり、循環したりするような、人と人との新たなつながりが広がることをめざします。
 - ・日常からの支えあいで、災害時の助けあいや復興にも強い地域をめざします。
- ★頼り上手は頼られ上手、お互いさまの関係を増やしていこう。

- ④ 地域のしあわせ「今」「これから」がみんなに見える住吉区に
- ・地域行事やボランティア活動などに関する情報発信について、ソーシャルメディアを含めた多様な媒体が用いられ、興味や関心に応じて気軽に情報をキャッチできる環境となっていくことをめざします。
 - ・例えば前述の地域での茶話会等が開かれたような場合に、会に参加できなくても話題が共有できるような情報発信が行われている環境をめざします。
- ★自分のまちでどんな活動が行われているか探してみよう。

基本目標

2

気になる人をまるごと、
支えあい気につけあうしくみづくり

- ① すべての人が自分の意見を言える、それが大切にされる住吉区に
- ・地域で、家庭で、学校で、区役所等の相談窓口で、誰でも話したいこと、相談したいことをためらうことなく伝えることができるような環境をめざします。
 - ・話を聞く側、相談を受ける側が、誰もが自己表現や自己決定する権利を持っていることを理解できている環境をめざします。
- ★自分の思いも大切に、相手の思いも大切にしよう。

- ② たくさんの「気になるなあ」が支援につながる住吉区に
- ・ちょっとした日常の変化に気づき、「もしかして何かあったのかも」と思える人が増えること、気づきがあったときに相談できる先を思いつける人が増えることをめざします。
 - ・身近な地域支援事務所などで、「よろず相談会」のような場が開かれていること、いつでも相談できることを知っている人が増えることをめざします。
- ★気になる人ともつながって、気につけあえる関係になろう。

- ③ 「木も見る、森も見る」まるごとを話しあい、支援が進む住吉区に
- ・気になる人がいたときに、地域で見守ること、福祉の専門職が具体的な支援を行うことがうまくかみあうように、さまざまな立場の人が地域で情報を共有したり話しあったりできる機会が持てるようになる、そうした機会が増えることをめざします。
- ★心配ごとはいろんな人と共有して、みんなで相談していこう。

- ④ それぞれができることから、大きな力を生み出せる住吉区に
- ・単独で関わる、支援することが難しい状況の地域住民を受け止め、支えるために、地域住民同士、地域住民と福祉の専門職や行政、専門職同士などがうまくつながり、どこかに誰かに負担が集中するようなことがないように、それぞれの特性を活かした息の長い支援も想定した役割分担ができるようになることをめざします。
- ★支援者同士も、顔合わせから力をあわせる関係になろう。